

とよた市議会だより



目次

| | | |
|---------------|-----------------|----|
| ■トップインフォメーション | タブレット端末の導入 | 2 |
| ■議案説明・討論 | | 4 |
| ■議案審議結果 | | 5 |
| ■常任委員会 | | 6 |
| ■一般質問 | 市政を問う！20人の議員が質問 | 8 |
| ■トピックス | | |
| | 市議会報告会を開催しました | 12 |

表紙の写真（議案第155号関連）

表紙の写真は、園庭で遊ぶ寺部こども園の園児たちの様子です。今定例会では、子どもにやさしいまちづくりを推進するため、新たな豊田市子ども総合計画の策定などが審議されました。

定例会号

12月市議会

令和2年2月1日

タブレット端末の導入

9月定例会号のトピックスに引き続き、今回のトップインフォメーションでは、先の9月市議会定例会から導入されたタブレット端末について、導入の経緯や目的などをより詳しく紹介します。

導入の経緯

- 平成28年度** 議会運営委員長を中心としたプロジェクトチームを設置し、タブレット端末導入に関する検討を開始。
- 平成29年度** 議会力向上特別委員会において、「効果的なタブレット端末の導入」について調査・研究を実施。改選後のタブレット端末導入に向けて、平成30年度に試行導入を実施し、引き続き検討を行っていくことを提言。
- 平成30年度** 前年度の議会力向上特別委員会の提言を受け、議会ICT化推進特別委員会を設置。議会のICT化推進の一環として、円滑かつ効果的な議会活動に資するタブレット端末の導入について調査・研究を実施。
9月定例会及び議会ICT化推進特別委員会の行政視察にて、タブレット端末を試行導入し体験・評価を実施。
平成31年度中にタブレット端末を導入するよう提言。
- 令和元年度** 9月定例会からタブレット端末を導入。

タブレット端末を利用した令和元年度9月定例会の様子▶



導入の目的

●会議運営の効率化

市議会と市執行部が導入した全端末を連携させることができ、同時に同じ資料を確認できるなど、会議進行の効率化を図ることができます。

●ペーパーレス化の推進

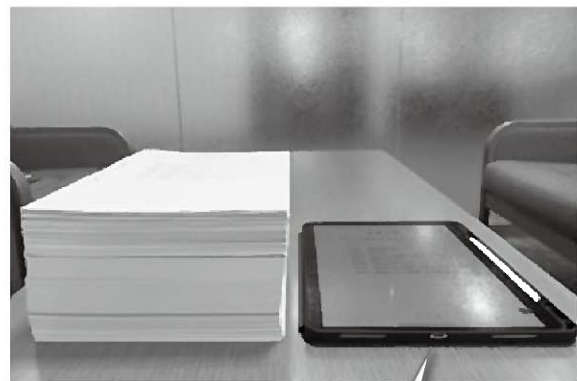
定例会ごとに使用する紙資料をデータ化し、タブレット端末に保存することで、膨大な紙資料を削減することができます。

○削減によるメリット

- ・紙代、印刷代、廃棄代等の費用が削減できる
- ・重くかさばる資料を端末に保存することで、持ち運びが便利になる

●資料内容の充実

白黒では分かりづらい資料もカラーで表示することができるなど視認性が向上し、より充実した会議を行うことができます。



これだけの量の資料が、
タブレット端末に入っています！



タブレット端末でできること

膨大な資料を持ち運ぶ必要がなく、1台のタブレット端末にデータとして保存することができるとともに、キーワードによる検索で見たいページを簡単に探すことができます。

また、機能の切り替えにより、インターネット検索も可能なため、調べたいことを迅速に検索することもできます。

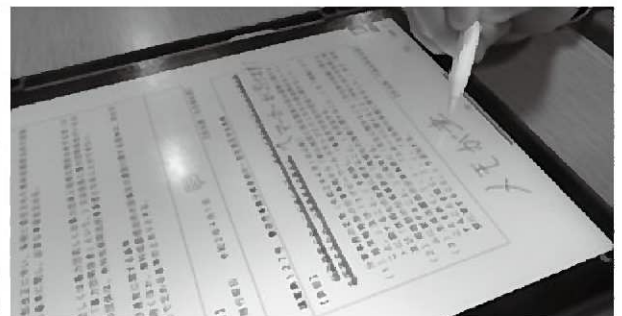
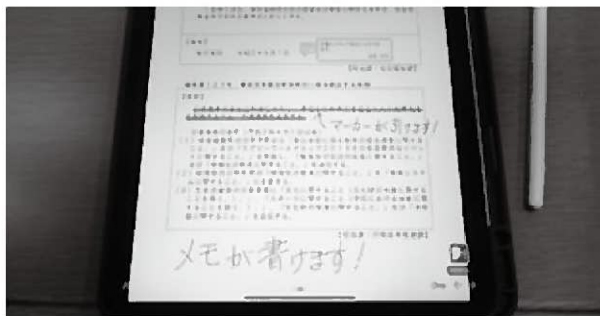


議員の声

今までは重たい資料の持ち運びが大変でしたが、タブレット端末があればいつでもどこでも資料をみることができ、調べたいことがあればインターネット検索もできるので、必要な情報をすぐ確認できて便利です。

タブレット端末に保存した資料は、紙資料と同じように、専用のタッチペンでメモを取ったり、マーカーを引いたりすることができます。書き込んだ資料は、自分のフォルダに保存可能です。

また、資料にメモした付箋を貼ったり、しおりを付けたり、画面を2分割し、2つの資料を同時に見ることもできます。



タブレット端末に導入している会議システムの連携機能を使用することで、説明している内容の画面を全員が一斉に見ることができます。

また、説明者の書き込みなども同時表示させることができます。



議員の声

今までは自分でいろいろな資料をめぐって該当ページを探していましたが、タブレット端末では説明しているページをすぐ見ることができるので、説明を聞くことに集中できます。

豊田市議会は、タブレット端末の導入を一つのきっかけとして、今後も引き続き、円滑かつ効果的な議会活動に積極的に取り組んでいきます!



条例の一部改正、工事請負契約の締結など31議案を議決

教育委員会所管事務の一部が市長へ移管されます

【議案第125号】教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

この条例により、今まで教育委員会が管理・執行していた以下の事務が、市長の管理・執行に変更されます。

- ①社会教育機関(中央図書館を除く。)の設置、管理及び廃止に関する事
- ②スポーツに関する事(学校における体育に関する事を除く。)
- ③文化に関する事
- ④文化財の保護に関する事

このことにより、市長部局内の連携が強化され、より一体的なまちづくりを行うことができます。

子どもにやさしいまちづくりを推進するため、新たな子ども総合計画がスタートします

【議案第155号】子ども総合計画の策定

現行の第2次豊田市子ども総合計画の計画期間が令和2年3月で満了することに伴い、「子育て」「親育ち」の支援に加え、地域も含めて「育ち合う」関係を構築し、子どもにやさしいまちづくりを共働で推進していくことを目的として、子どもの目線に立った新たな子ども総合計画を策定します。期間は令和2年度から令和6年度までです。



園庭で遊ぶ園児の様子

討 論

12月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

根本美春
諸 派

教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例及び事務分掌条例の一部改正条例に、反対

議案第125号・議案第127号：反対。市長権限の特例を定めるにあたって、教育の政治的中立性、継続性・安定性の確保や住民の意見の反映、学校教育との連携は、最優先されるべきと考える。これが明確に確認できず、教育委員会の関与は「条件」とされていない点において、問題であり、反対。

木本文也
自民クラブ

教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例及び事務分掌条例の一部改正条例に、賛成

議案第125号・議案第127号：賛成。令和2年度から、教育委員会の文化財課、美術館を市長部局である生涯活躍部に移管するもの。これにより、文化ゾーン構想における博物館整備事業の推進、文化振興課との連携強化、意思決定の迅速化が実現する。併せて、文化、スポーツ、文化財との関連を強化にすることにより、本市の資源を生かした一体的なまちづくりを推進するものである。また、経営戦略部への(仮称)情報戦略課の新設は、情報化推進の取組を強化し、先進技術への対応をするものであることを評価し、賛成。

吉野英国
市民フォーラム

令和元年度一般会計補正予算に、賛成

議案第136号：賛成。農業振興地域整備計画変更業務委託事業について、今回、農業振興地域整備計画を1年前倒しし、山村地域の定住促進ならびに農業の持続性を図る事を確認した。人口減少が進む山村地域において、地域コミュニティの維持は、その地域に住む人々の暮らしを支えるものである。定住が促進され農林業の活性化につながることを期待して、賛成。

榎屋小百合
公明党

子ども総合計画の策定に、賛成

議案第155号：賛成。豊田市子ども総合計画には、孤立や困りごとを抱える子どもたちに対し、「子どもの孤困・救済対策」として、子どもの権利保障の視点からの取組が進められること、また、重大な社会問題である児童虐待への対策を基本施策に位置付け、事業効果の最大化を図ることが盛り込まれている。今後は、本計画を豊田市のチャイルドファースト社会構築の柱として、より具体的で実効性のある取組が進められることを期待して、賛成。

岡田耕一
諸 派

指定管理者の指定(中央図書館)に、賛成

議案第147号：賛成。平成28年12月当時は、指定管理者制度への移行に強い懸念を感じ、反対した。今回、検討した結果、運営コストは反対する水準でもない。開館時間の延長等により、減少傾向にあった入館者数が増加に転じ、平成30年度には過去最高。企画展示を数多く実施し、ボランティア育成講座の開催や学校と連携した事業などを実施。図書館司書を含めた職員は、定着率が向上。ただ、今でも、司書の確保、開館時間の延長、関連施設等との連携イベント実施は直営でも可能であると考え、実績、次期の事業提案等を見ても、評価せざるを得ないと考え、賛成。

中島電二
諸 派

学校給食センター条例の一部改正条例に、賛成

議案第131号：賛成。新しくできる豊田市北部給食センターでは、アレルギー対応給食を1日100食提供できるようになる。現在、アレルギー対応給食を提供しているのは豊田市東部給食センターのみであるため、現在よりも拡大・充実ができるという点では評価できる。食物アレルギーのある子どもたちのために、さらなるアレルギー対応給食の拡充、安心安全に給食を提供できることを期待して、賛成。



議案審議結果

～とよた市議会だより～

令和元年

12月
定例会号

※議案名など一部省略して記載しています

12月市議会定例会に提出された案件

◆議案

| 議案番号 | 議案名 | 採決結果 | 会派別賛否 | | | | | | | |
|-------|--|------|--------------|----|----------------|----|-----------|----|----------|----|
| | | | 自民クラブ 26名 | | 市民フォーラム 10名 | | 公明党 4名 | | 諸派 3名 | |
| | | | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 |
| 第125号 | 教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例 | 原案可決 | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 2 | 1 |
| 126 | 無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 127 | 事務分掌条例の一部改正条例 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 2 | 1 |
| 128 | 市職員給与条例及び市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正条例 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 129 | 市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正条例 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 0 | 3 |
| 130 | 市特別職職員の給与を定める条例の一部改正条例 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 0 | 3 |
| 131 | 学校給食センター条例の一部改正条例 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 2 | 1 |
| 132 | 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 133 | 幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 2 | 1 |
| 134 | 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 2 | 1 |
| 135 | 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正条例 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 136 | 令和元年度一般会計補正予算 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 2 | 1 |
| 137 | // 国民健康保険特別会計補正予算 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 138 | // 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 139 | // 分譲住宅建設事業特別会計補正予算 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 140 | // 卸売市場特別会計補正予算 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 141 | // 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 142 | // 介護保険事業特別会計補正予算 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 143 | // 後期高齢者医療特別会計補正予算 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 144 | // 産業用地造成事業特別会計補正予算 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 145 | 工事請負契約の締結((仮称)松平地域屋根付広場新設工事) | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 146 | 財産の取得(市立豊田特別支援学校調理場建物及び附帯施設) | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 147 | 指定管理者の指定(中央図書館) | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 2 | 1 |
| 148 | // (西部体育館及び逢妻運動広場) | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 2 | 1 |
| 149 | // (温浴施設じゅわじゅわ) | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 150 | // (田町活性化施設) | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 151 | // (西町活性化施設) | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 152 | // (豊田高等職業訓練校) | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 153 | // (井上公園(水泳場を除く。)) | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 154 | // (井上公園水泳場) | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 2 | 1 |
| 155 | 子ども総合計画の策定 | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 2 | 1 |

◆同意

| | | | | | | | | | | |
|-----|----------------------|----|----|---|----|---|---|---|---|---|
| 第6号 | 公平委員会委員の選任(新任:村井奈美氏) | 同意 | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 7 | 人権擁護委員の推薦(新任:青木康次氏) | // | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |

◆報告

第11号 専決処分の報告(損害賠償額の決定3件、訴えの提起6件)

◆請願

| | | | | | | | | | | |
|-----|-----------------------------|-----|---|----|---|----|---|---|---|---|
| 第2号 | 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書 | 不採択 | 0 | 26 | 0 | 10 | 0 | 4 | 1 | 2 |
|-----|-----------------------------|-----|---|----|---|----|---|---|---|---|

◆陳情

第14号 国に対して「すべての子どもによりよい幼児教育・保育の無償化の実現を求める意見書」の提出を求める陳情書



常任委員会とは

常任委員会とは、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び請願等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

産業建設 委員会

12月12日、付託された1議案を審査し、全会一致にて議案を承認しました。

【第152号】指定管理者の指定
(豊田高等職業訓練校)

質問 指定管理3年間の総括はどのようなか。

答弁 指定管理業務である、施設及び設備の維持管理や利用許可の手続などについては適切に実施されていると評価している。

また、自主事業として、「夏休み親子木工教室」や「大人の木工教室・板金教室」を開催することで、施設や建設業のPRはもとより、市民にもものづくりの楽しさを伝え、さらに学校だよりの活用により、施設の見える化を推進してきたことについて高く評価している。

意見 前回現地確認をした際は、生徒が一人で、施設利用者も少ない状況だったが、現在は生徒が13人に増え、利用者数も稼働率も上がっている。

また、本訓練校修了生が、技能五輪全国大会の建築大工職種で見事金賞を受賞したことや、本校で現在も指導していただいている先生が、厚生労働省から「現代の名工」に選出されたことなど、ものづくり技能育成の拠点としての成果が表れている。

しかし、勤務先の事業主が支払う入校金などが、事務所に勤務していない「一人親方」とっては負担が大きく、技能五輪の出場に対しても何らかの支援が必要であるとも感じる。

今後さらに、本訓練校がモノづくり技能育成の拠点となり、担い手の育成と雇用に向けた支援につながることを期待して賛成する。

環境福祉 委員会

12月13日、付託された2議案を審査し、全会一致にて議案のすべてを承認しました。請願1件は不採択としました。

【第126号】無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例

質問 本条例を制定するに至った背景はどのようなか。

答弁 無料低額宿泊所の設備及び運営については、現在、国のガイドラインにより規定されているが、悪質な業者による、いわゆる貧困ビジネスへの規制がなかった。こうしたことから、社会福祉法が改正され、施設利用者を支援・保護するために必要な設備・運営に対し法的拘束力を持つ最低基準などが創設されるとともに、中核市以上は条例を制定することが義務づけられた。

【第149号】指定管理者の指定
(温浴施設じゅわじゅわ)

質問 次期指定管理者を単独指名にした理由は何か。

答弁 株式会社豊田ほっとかんは現在も温浴施設じゅわじゅわの指定管理を行っており、その管理実績が良好であること、また、温浴施設じゅわじゅわは、株式会社豊田ほっとかかんが所有している有料老人ホームを核とする複合施設の一部であり、全体の運営を行う会社に管理を行わせることが効率的かつ効果的であることなどが理由である。



▲温浴施設じゅわじゅわ

教育社会 委員会

12月16日、付託された12議案を審査し、議案のすべてを承認しました。請願1件は不採択としました。

【第131号】学校給食センター条例の一部改正条例

質問 新センターの完成後、近隣地域・住民への説明、見学などの予定はどのようなか。

答弁 新センターの供用開始に伴い、給食配送車や食材搬入車などの交通量が増加することなど、近隣に与える変化について、地域住民の方にご理解いただくことが重要であると考えている。

そのため、施設完成直後の2月上旬に、自治区役員を始めとする近隣地域の方をお招きして、施設内部の見学をしていただくことを予定している。

【第155号】子ども総合計画の策定

質問 「子どもの貧困対策のための計画」を子ども総合計画に包含した理由は何か。

答弁 子どもの貧困対策については、第2次子ども総合計画では明確に位置付けていなかった。

子どもたちを取り巻く昨今の状況も踏まえ、第3次計画を策定するにあたり、平成30年8月に、子どもにやさしいまちづくり推進会議に「子どもの貧困対策検討部会」を設け、国の大綱なども参考に、本市の取組方針や具体的内容について協議を重ねてきた。

そうした中、令和元年6月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が改正され、市町村は子どもの貧困対策計画の策定に努めるものとされたため、第3次計画へ位置づけを行ったものである。



委員会

地域生活

委員会

12月17日、付託された2議案を審査し、全会一致にて議案のすべてを承認しました。

【第150号】指定管理者の指定
(田町活性化施設)

【第151号】指定管理者の指定
(西町活性化施設)

質問

各施設はどちらも重要伝統的建造物群保存地区を構成する建築物だが、事業内容とその効果はどのようなか。

答弁

事業内容は、両施設ともに足助のまちなかで開催する夏まつりの「たんころりん」や、中馬のおひなさんなどの町並みイベントでの展示や観光客の休憩所としての施設利用を積極的に行うとともに、西町活性化施設は、特産品の販売や地域食材を活用した飲食事業を併せて行っている。

事業の効果は、建物を使用することで建築物本体の管理を行い、町並みの保全に繋げながら観光客の満足度向上と賑わいの創出に貢献している。

質問

指定の期間は通常5年としているが、西町活性化施設に関しては、指定の期間を3年としている。その具体的な理由は何か。

答弁

西町活性化施設の指定の期間は、平成17年に施設利用を開始して以来、5年間としてきた。今回の期間も当初は5年間とすることで準備を進めていたが、組織体制に変更が生じたことから予定団体にヒアリングを行い、指定の期間を3年間と定めた。

3年間という期間は、現体制での管理運営が可能な期間であり、この間に人材育成などの組織体制の再編を行い、さらなる観光サービスの向上に資する運営に繋げることを目指すものである。

企画総務

委員会

12月18日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを承認しました。請願1件は不採択としました。

【第127号】事務分掌条例の一部改正条例

質問

(仮称)情報戦略課において(仮称)情報化推進計画を策定することだが、本市としてどのような姿を目指し、具体的にどのような取組を盛り込むのか。

答弁

まず、本市のスマートシティ将来像を描き、とりわけ情報通信技術の活用推進に関する短期的、中期的な戦略方針と行動計画として(仮称)情報化推進計画を定める。

目指す姿、具体的な取組については、新体制のもとで検討するが、少なくともAIやRPAなど、新技術の導入による市民サービスの向上、行政事務の効率化の取組等については盛り込む予定である。

意見

文化財課と美術館の二つの所管と権限を市長部局に移すことの効果として、第8次豊田市総合計画、前期実践計画に掲げる重点施策、暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出の進捗が期待できることを確認した。本市の一体的なまちづくりをさらに推進させ、今後の本市の魅力創出につながることを期待する。

また、(仮称)情報戦略課の新設について、国が提唱するSociety5.0の実現を推進する部署であり、計画の策定には次世代通信網5Gの活用策を検討することを確認した。

スマート自治体に向けた横断的な業務改革を実現させる組織であり、持続可能な行政サービスの確立により、住民福祉に寄与するものであると評価する。

今回の組織改編が未来に向けた新たなまちづくりの礎になることを期待する。

予算決算

委員会

12月11日から20日にかけて付託された9議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第136号】令和元年度一般会計
補正予算

質問

上郷コミュニティセンター一は、地区対策活動の拠点施設だが、非常用発電設備のケーブル類の耐震対策はどのようなか。

答弁

新たに整備する非常用発電設備は、上郷コミュニティセンター北側の駐車場スペースに設置する。ケーブル類は地中に埋設し館内へ接続するが、1メートル程度の余長を保った状態で施工するので、地震による変動が生じた場合でも、その余長分については耐久性がある。

【第137号】令和元年度国民健康保険
特別会計補正予算

質問

健診受診を促す今年度の特徴的な取組はどのようなか。

答弁

一つは、昨年の受診結果を用いた受診の呼びかけである。毎年3月末に、健診受診対象者全員に健診受診券を送付しているが、今年度は受診券を送付した後に、昨年度受診をした方に、昨年度の受診結果を掲載した受診勧奨通知を送付した。昨年の結果を見ていただき、特に心配のない方については、確認のために、また、昨年度何らかの気になる項目があった方については、今年度も健診を受けていただき、自分自身の体の状態を確認することが大切であることを伝えた。

もう一つは、未受診者を五つのグループに分けて、そのグループごとに合わせた勧奨はがきの送付である。これまでの健診受診歴の有無、受診歴のある方については生活改善の意思の有無、体重の変化、運動習慣の有無などを基にグループ分けをして、それぞれのグループの特徴に合わせた勧奨内容ははがきにて送付している。



市政を問う!

12月9日から11日にかけて、20人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

羽根田利明

自民クラブ



- スポーツを生かしたまちづくりの推進
- 誰もが安心して自分らしく生きられるまちづくり

質問 地域医療を充実するための施策

子育て中、高等教育期間中世帯の経済的な負担を軽減するため、医療費助成制度のさらなる拡充の考えを問う。

答弁 市長

本市における大学等の高等教育機関への進学率は6割を超える。また、市内にある高等教育機関に、市外から転入して学んでいる学生も多にいる。若者たちが、将来、希望する道に進んでいけるよう、若者への投資はミライへの投資との思いで、本市としても支援していきたい。支援策の一つとして、就学期間中に入院することになったとしても、多額な出費が、学業の支障とならないよう、令和2年度から、高校生に加え、大学生等に対しても、入院にかかる医療費を助成していく。

宮本剛志

自民クラブ



- 将来都市像の実現に向けて

質問 上豊田駅まちづくり事業

区画整理区域内に事業主体が異なる様々な公共事業が予定されているが、区画整理事業に対する市としての推進体制を問う。

答弁 都市整備部

土地区画整理事業に対する仮同意が目標値に達した場合、準備委員会から発起人会へと組織が移行される。発起人会は、「技術的援助の請求」を市に申請し、市は組合設立認可

までの各種協議・調整、区画整理設計、認可申請までの支援、認可後の組合運営、各種設計や工事に関する支援を進めていく。また、関連する他の公共事業の進捗を注視しながら、円滑に事業が完了できるよう協議、調整も含め、技術的援助をしていく。

深谷とおる

自民クラブ



- 水害時の安全安心

質問 浸水想定区域の水害対応

避難することを考えると、しっかりとした準備が必要。「非常持ち出し品」を充実すべきと考えるが、見解を問う。

答弁 地域振興部

非常持ち出し品は、避難先で一晩過ごす上で必要な品目と量を目安とし、「防災虎の巻」や「出前講座」などで啓発している。「防災虎の巻」には、どのような世帯にも該当しそうな品目を一例として掲載している。一部紹介すると、タオル、ポンチョ、マスク、懐中電灯やヘルメットなどである。浸水想定区域での出前講座などの機会には、安全に避難するための非常持ち出し品の一例として紹介していきたい。



防災虎の巻

岩田 淳

自民クラブ



- 公園事業を活用した魅力あるまちづくり
- 国保制度改正による適切な財政運営

質問 鞍ヶ池公園を活かしたまちづくりの推進

民間活力導入には、市民を始め、鞍ヶ池公園に関わる方々への配慮が必要。導入の方向性及びスケジュール、見解を問う。

答弁 都市整備部

方向性としては、現在の入園無料の形態や自然景観の良さはそのままに、新たに魅力的な施設を追加する形で進める。「WE LOVE とよた」の精神に基づき、参入事業者には、地元造園事業者に参加してもらう義務付けを行い、既存店舗等への配慮を求めていく。スケジュールは、令和元年度に公募により事業者決定、令和2年度に施設整備、令和3年4月からの運営着手を目指す。新鞍ヶ池公園の新たな空間を基盤とし、市民の「WE LOVE とよた」の醸成を図っていく。

杉浦健史

自民クラブ



- 選ばれる街づくり
- 中心市街地の賑わいづくり

質問 フルモールに向けて

「とよしば」の活用と、「とよしば」が将来的に現在のコンセプトを受け継ぎ、広場として継続されるかを問う。

答弁 都市整備部

令和元年9月にオープンした豊田駅東口まちなか広場、愛称「とよしば」は、拠点施設と芝生広場で構成され、拠点施設は「収益機能」と「公益機能」を持ち合わせている。収益機能は飲食スペースが担い、公益機能はアトリエ・ラボ・スタジオスペースが担う。「とよしば」の運営は公開プロポーザルによって選定された民間事業者によりスタートし、今後本格運用が始まっ



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議員団 諸派：会派所属無

一般質問

ていく。現機能を適正に評価し、将来の東口まちなか広場に継承する機能を見極めていく。

大石 智里

公明党



- 外国にルーツを持つ子どもの2言語習得の取組
- 災害時の情報発信と収集の強化

質問 災害時のSNSの活用

災害時の情報の送受信にはSNSが大きな力を発揮する。そこで、SNSを活用し、必要な情報を必要な人に早く確実に届けるために、市公式LINEに災害情報の機能を追加し、情報発信ツールに磨き上げることが重要。市の見解を問う。

答 弁 地域振興部

現在、緊急メールとよた、ツイッター、フェイスブック、市公式LINEは同じ内容で登録者全てに災害情報・緊急情報として、開設した緊急避難場所名等を地域を記載し配信している。SNSなどの機能も開発・強化されているため、他自治体での活用実績等も踏まえながら、本市に適合した活用策を考えていく。

田代 研

公明党



- 命を守る取組
- 高齢者施策

質問 避難所運営で命を守る行動

液体ミルクの備蓄については、「総合的に情報集約し判断する」と、過去に答弁があったが、現在の進捗状況を問う。

答 弁 地域振興部

液体ミルクは、調理不要で封を開け

てそのまま授乳可能であり、災害による断水を想定すると、高い効果が見込まれることから、本市としても前向きに導入を検討し情報収集を行っている。現在、賞味期限の短さを最大の課題と捉えており、液体ミルクを製造・販売しているメーカーに対して、賞味期限の長期化について要望を伝えている。また、商品開発などの市場動向を注視しながら、導入を進める。

神谷 丈一

自民クラブ



- 身近なごみステーションと災害廃棄物の取組
- 地域の活力を観光に

質問 文化財を活かした観光

本市には、歴史を積み重ねてきた伝統文化財が点在するが、その文化財をテーマにした観光の推進について、考えを問う。

答 弁 産業部

文化財などの資源を観光商品にする「テーマ別観光」は、魅力ある観光地域の形成や、地方誘客を図るものとして位置づけられている。本市では、各地区に共通のテーマや物語を設定し、文化財などの観光資源を掛け合わせた体験型・交流型の商品開発や各地区をつなぐ連携プロジェクトを推進している。次期豊田市観光実践計画に向けては、ヒアリングを進めているところであり、文化財も「テーマ別観光」の重要な資源の一つと認識している。

水野 博史

自民クラブ



- 命を守る迅速な情報伝達

質問 防災ラジオを活用した地域放送

防災ラジオの平常時の活用を考え、普及促進に取り組む必要がある。地域放送を全市に展開していくための取組を問う。

答 弁 地域振興部

防災ラジオは、自治区単位で地域情報を放送でき、中学校単位で放送することも可能な仕様となっている。また、防災ラジオを活用した地域情報を放送する環境は、全市的に整っていると考えている。ラジオを活用した地域情報の放送は、地域活動の支援につながるものと考えており、地域放送の展開にあたっては、地域の実情を加味しつつ、具体的な運用ルールを協議し、地域の支援につながるようラジオの活用に取り組んでいく。

中尾 俊和

市民フォーラム



- 安心して出産できる環境づくり

質問 妊婦の不安解消に向けた取組

不育症に悩んでいる方へ経済的な支援を行うべきと考えるが、「不育症検査・治療に対する補助」の市の考えを問う。

答 弁 子ども部

厚生労働省の科学研究班では、妊娠はするが、流産・死産などを繰り返して結果的に出産に至らないことを「不育症」と定義している。不育症については、国においても明確な治療法についての指針や治療費助成に対するガイドラインが示されていない。今後も、不育症の治療費助成について、医療機関等との意見交換を実施したり、国の動向を注視するなどの情報収集を行っていく。



市政を問う!

議員氏名
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

中島 竜二

諸派



●本市におけるインクルーシブ教育のあり方

質問 障がいのある子どもへの支援の取組

障がいの有無にかかわらず誰もが等しく学習できる環境づくりが求められているが、本市のインクルーシブ教育推進に向けた取組を問う。

答弁 学校教育部

障がいのある子どもも障がいのない子どもも共に学び生活できるような学校内のバリアフリー化等の環境整備を計画的に進めていく。また、今後も各学校で行われている福祉実践教室や道徳科の授業を通して障がい者理解を深めながら、特別支援学級の児童生徒が通常の学級で学ぶ「交流及び共同学習」を充実させていく。

岡田 耕一

諸派



- 上豊田駅周辺土地区画整理事業
- 北一色町地内無農薬農園造成事業を受けて考える
- 豊田市駅東地区フルモール化計画の見直しを

質問 今後のフルモール化計画

豊田市駅前通りを歩行者専用道路とし、駅東のバスターミナルを廃止することについて、再考を求める声が多かった場合の計画変更の可能性を問う。

答弁 都市整備部

都心環境計画は将来イメージで、多くの市民のご意見を頂きながら策定してきた。現在も「豊田の都心を育てる会」や「都心環境計画推進会議」等に継続して意見を聞いている。今後も将来イメージであるフルモール化については、市民の意見を頂きながら、

必要に応じて修正を行っていくとともに、実証実験等により何らかの影響が想定される場合は、必要となる対策を講じていきたいと考えている。

奥村 峰生

自民クラブ



- 効果的で持続可能な自治区活動の展開に向けて
- 食育の推進による健康づくり
- 食品ロス削減の取組

質問 自治区の意義と今後のあり方

自治区運営には多種多様な課題が存在するが、自治区自身の負担軽減の取組と行政による負担軽減策の取組状況を問う。

答弁 地域振興部

本年10月、全自治区を対象に「自治区の負担軽減に関する取組事例調査」を実施。結果から自治区内の諸団体と業務を分担している事例が多く見られた。また、別日に実施していた複数事業を同日開催としたり、廃止したりといった事例など、事業削減や実施方法の見直しに関する事例なども見られた。行政としては、今後も回覧依頼文書の抑制に取り組みつつ、各種委員の推薦依頼案件などにおいて、自治区の負担を少しでも軽減できるよう努めていく。

塩谷 雅樹

市民フォーラム



●水害対策への取組

質問 雨に強い豊田市への対応

中部ポンプ場の洪水対策と、今後の操作手の養成について問う。

答弁 上下水道局

中部ポンプ場は、これまで矢作川の

計画高水位を基準に洪水対策の整備をしてきたが、想定を超える豪雨による河川の氾濫等への対応が必要と考え、150年に1度の降雨で矢作川の堤防が破堤した場合の浸水深を新たな対策目標とした。具体的な対策は、事務室入口などの扉の防水扉への変更や、電気・機械設備の嵩上げなどで、令和3年から着手する。また、操作手の育成については、計画的な確保に努めるとともに、不測の場合にも対応できる体制づくりも含めて技術の伝承に努めていく。



中部第3ポンプ場

中村 孝浩

市民フォーラム



- 公共施設等の最適化の推進
- 食品ロス削減の推進

質問 個別施設計画に基づく公共施設等の最適化

公共施設等総合管理計画を今後どのように進めていくのか問う。

答弁 市長

大規模自然災害の発生も危惧される中、公共施設の利用者の安全・安心を確保することは施設管理者である市の責務である。必要な対策を適切に実施し、「施設の老朽化に起因する重大事故ゼロの継続」を達成し続けるよう施設の特성에応じた対策を推進していく。また、施設全体の総量抑制や民間活力の導入、規制緩和等に



質問 一般質問の小さいテーマ(中項目) **答弁** 回答した部局名
実際に質問した内容(小項目) 質問に対する市の担当部局の回答

よる施設の有効活用の促進を図りながら、公共施設の計画的な管理を行い、中長期的な視点を持って持続可能な公共施設の最適化を図っていく。

日 當 浩 介

市民フォーラム



●命を守る行動を支える取組

質問 災害用備蓄食料等の備え

豊田市が掲げる災害に強い持続可能な「豊田市版命を守る自助モデル」の推進について見解を問う。

答 弁 地域振興部

市民の家族構成や生活スタイルは様々で、自助の取組や方法についても様々な形が存在する。また、昨今の災害の教訓や技術革新などを受けて日々変化していくなか、これまで以上の自助促進には、市民の意識改革に加え、自助のイメージの変革など一層の工夫が必要と考える。次世代自動車を用いた停電対策など本市ならではの方法を始め、自助行動に繋がる意識啓発を引き続き研究し、市民に発信していきたい。

近 藤 厚 司

自民クラブ



- データヘルスから見る共働による保健推進
- 里山を守る獣害対策

質問 獣害対策の更なる推進

イノシシやシカが、「はこわな」にかかった際に駆除員に通報が入る遠隔通報システムの導入を図るべきと考えるが見解を問う。

答 弁 産業部

令和元年8月に締結したKDDIウエ

ブコミュニケーションズとの連携協定「Cloud On とよた」は、農業や農業者個々の課題について、IT技術などの活用により、その課題に対応していくものである。「遠隔通報システム」は、駆除員に加えて集落の補助者に対しても、省力化につながり、有益と考えているため、連携事業として協議を進める。また、情報通信技術等のさらなる活用、新たな資機材や捕獲の手法などの対策について、関係機関と連携して進めていく。

福 岡 靖 純

自民クラブ



●多文化共生の推進

質問 公立夜間中学の設置

外国人住民への基本的考えと、6月に制定された日本語教育推進法への取組について問う。

答 弁 経営戦略部

外国人の定住化が進むことでライフステージに対応した取組の必要性が高まってくると考えているため、「安心して暮らせる多文化共生都市」を実現するために必要な事業を推進していく。また、日本語教育推進法が施行されたことで、国、地方公共団体、事業主の責務が明確にされ、政府が必要な法制、財政上の措置を講じることにも明文化されたことから、今後も、国に対して本市の状況に応じた日本語教育を推進するための支援をお願いし、積極的に取り組んでいく。

根 本 美 春

諸派



- 都心の開発とバスターミナルの廃止計画
- 河川整備と水害対策
- 加齢性難聴者の補聴器購入の補助制度

質問 都心環境計画と未来デザイン

駅西口バスターミナル集約化、フルモール化等の事業があるが、各事業の事業完了までの金額と総額を問う。

答 弁 都市整備部

都心環境計画は将来のイメージを提示したものであり、ペDESTリアンデッキやバスターミナル、駅前広場等において、市民の意見を聞きながら関係機関と調整し、各施設の構想、計画、設計を進めている。事業費の算出については設計段階で行っていくため、今後の事業費やその総額は把握していない。今後整備を行っていく西口ペDESTリアンデッキとバスターミナルについては、現在、設計を進めているところで、事業費は算出中の状況である。

倉 山 和 之

市民フォーラム



●ウォークアブル推進都市に向けたまちづくり

質問 にぎわいにつながる回遊空間の拡充

駅から文化ゾーンへの歩行空間を、ウォークアブルという観点からどう整備していくのか、考え方を問う。

答 弁 生涯活躍部

駅から文化ゾーンへの歩行空間を、「わくわく感」や「楽しさ」を感じながら回遊できる空間にすることが必要であり、計画的に環境整備を進めていく。具体的な取組は今後検討していくが、デザイン性の高いサイン表示や、歩きながら芸術を楽しめるアート作品の設置など、歩行空間の装飾が考えられる。取組については、市民や事業者を巻き込みながら進めていきたい。また、歩行者ルートの設定は、「けやき通り」と「緑陰歩道」の2ルートを現時点で想定している。



市議会報告会を開催しました

10月7日から31日にかけて、4つの常任委員会が市議会の活動報告と委員会ごとにテーマを決め、関係団体と意見交換を行う市議会報告会兼意見交換会を実施しました。

各団体の想いや意見を確認させていただき、今後の議会活動や豊田市のまちづくりに生かしていきます。

教育社会委員会

開催日:10月7日(月)

意見交換団体:豊田市母子保健推進委員の会

テーマ:子育て支援について
おめでとう訪問等の活動経験から、今後どのような支援が必要となるかなどについて意見が交わされました。



環境福祉委員会

開催日:10月30日(水)

意見交換団体:豊田加茂薬剤師会

テーマ:在宅医療・福祉連携について
今後ますます増えていく在宅療養患者に対して薬局が積極的に関わっていくために必要な環境整備や関係機関との連携などについて意見が交わされました。



企画総務委員会

開催日:10月31日(木)

意見交換団体:豊田商工会議所はじめ5団体

テーマ:MICEを生かしたまちづくり
MICEを活用したプロモーション戦略を進めるうえで、豊田市の強み生かした取組や誘致方法などについて意見が交わされました。



地域生活委員会

開催日:10月31日(木)

意見交換団体:愛知県交通安全協会豊田支部はじめ3団体

テーマ:交通死亡事故多発非常事態宣言の発令を受けた今後の取組について
各団体が様々な課題を抱える中、交通事故をいかに減らしていくのかなどについて意見が交わされました。



※MICE…多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称

市議会の予定

3月市議会定例会は2月21日(金)開会予定です

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

豊田市議会 検索

「動画で見る代表・一般質問」をクリック!



録画放送は、質問者ごと、大項目ごとで閲覧可能です。
「市議会だより」のバックナンバーや会議録も
ご覧いただけます。



豊田市議会ホームページ

<http://toyota-shigikai.jp> (動画で見る代表・一般質問)



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継
チャンネル/78.6MHz

※この冊子は、折込み「12月市議会定例会号」です。



豊田市議会は、古紙配合率70%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています